

科目名・単位数		生活支援技術(2年次)	(5)単位	学習レベル	基礎	
学習目標						
① QOLの向上を目指した生活支援の必要性を理解する。 ② 日常生活の介護場面において、安全に支援できる基礎的知識と技術を習得する。 ③ ICFの視点に基づいてアセスメントし、個々の状態に応じた生活支援技術を習得する。						
学期	学習内容	学習のねらい		備考		
前期 (4月～9月)	4月 オリエンテーション	・年間の授業計画と基本的な心構えを準備する。				
	5月 第1編 私たちの暮らしと生活支援 第1章 生活支援の理解			ワークシート		
	6月 第1節 生活に視点を置く 第2節 生活支援の考え方	・要介護者や家族の生活を重視した介護のあり方を考察する。 ・個人の尊厳を持つ価値について理解し高齢者や障害者に対する自立生活支援のあり方を考察する。				
	7月 第3節 他の職種の役割と協働 第1節 生活支援におけるアセスメント	・介護現場に求められるチームアプローチのあり方を考察する。				
9月 第2節 ICFの視点とアセスメント	・利用者及びその家族が抱えるニーズの把握に向けた関わり方を考察する。 ・ICFを活用したアセスメントの方法を詳しく考察する。		ワークシート 演習			
後期 (10月～3月)	10月 第2編 自立に向けた生活支援技術 第1章 居住環境の整備					
	11月 第1節 生活支援における居住環境整備の意義・基本理念 第2節 安心して快適な生活の場づくり	・バリアフリー、ユニバーサルデザインの考えに基づいた居住環境について理解する。 ・利用者の安心して快適な生活の構築に向けたその手法を習得する。				
	12月 第2章 家事の介護 第1節 家事の支援の意義と目的	・家事の介護を理解し、ICFの視点を活かした支援のあり方を考察する。		ワークシート 演習		
	1月 第2節 家事支援における介護技術 第3章 身じたくの介護 第1節 身じたくの意義と目的	・利用者の状況に応じた家事介護に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ・身じたくの介護を理解し、ICFの視点を活かした望ましい介護のあり方を考察する				
	2月 第2節 身じたくにおける介護技術 第4章 移動の介護 第1節 移動の意義と目的	・利用者の状況に応じた身じたくの介護に関する基礎的な知識と技術を習得する。		ワークシート		
	3月 第2節 移動・移乗における介護技術					
	4月 緊急時対応の知識と技術	・日常生活における危険の予防や起こりやすい外傷等を学ぶ。 ・適切な応急処置に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ・緊急時における他の職種との連携について理解する。		ワークシート 普通救命講習を受講する		
	5月 3月 まとめ	・1年間のまとめを行い、学習理解の確認を行う。		ワークシート		
	評価の観点と方法					
	観点 ① QOLの向上を目指した生活支援の必要性を理解することができたか。 ② 日常生活の介護場面において、安全に支援できる基礎的知識と技術を習得することができたか。 ③ ICFの視点に基づいてアセスメントし、個々の状態に応じた生活支援技術を習得することができたか。					
方法 ① 上にあげた観点を総合的に評価する。						
使用教科書・副読本		教科書：生活支援技術(実教出版) 副読本：新・介護福祉士養成講座 6. 生活支援技術 I 7. 生活支援技術 II (中央法規出版)				
教材・道具等		パワーポイント・DVD・福祉用具・ワークシート等				